



ガザを考える

天井のない監獄

7/25(木) 16:10～
G8-502
(国際教養学部棟 5階)
申し込み等不要

昨年の10月7日ハマスのイスラエル攻撃により始まったイスラエルによるガザへの侵攻、10月7日から今ガザはどうなっているのか、そして10月7日以前には何があったのかを国際政治学者で中東政治を専門とされている酒井啓子先生そしてガザの惨状に心を痛める国際教養学部生(北村蒼太)が解説。



酒井啓子(さかいけいこ)

千葉大学国際高等研究基幹特任教授、同大学グローバル関係融合研究センター長。東京大学教養学科卒、英ダラム大学中東・イスラーム研究センターにて修士号取得、京都大学にて博士号取得。

アジア経済研究所、在イラク日本大使館専門調査員、カイロ・アメリカン大学客員研究員、東京外国語大学教授を経て、2012年より現職。

専門は中東政治、イラク地域研究、国際関係論。主な著書として『9.11後の現代史』(講談社新書)、『イラクは食べる』(岩波新書)など

主催：千葉大学国際教養学部3年 北村蒼太

共催：千葉大学グローバル関係融合研究センター
同センター長 酒井啓子

お問い合わせ先：

22Z1022A@STUDENT.GS.CHIBA-U.JP